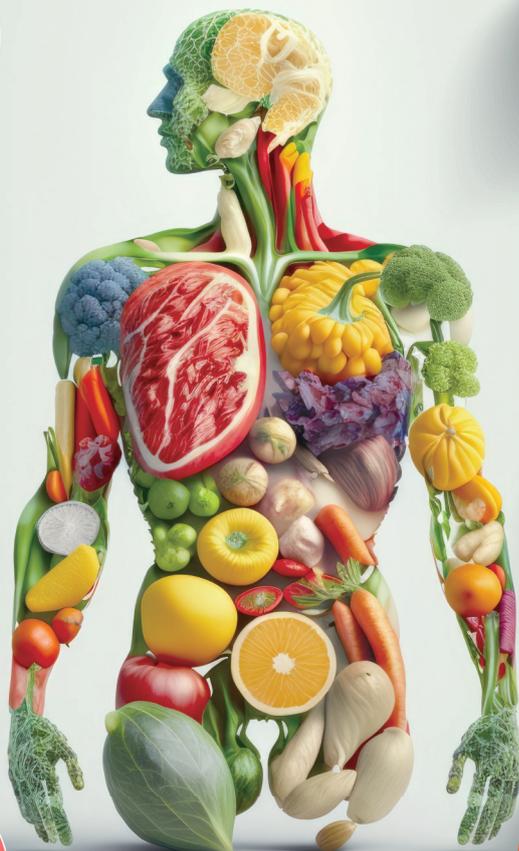


日本栄養治療学会 近畿支部 第17回支部学術集会

プログラム集

栄養管理の **点と点** をつなげる



会期 2025年7月19日(土)

会場 京都テルサ

〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町70

会長 荒金 英樹 愛生会山科病院 消化器外科

実行委員長 錦織 達人 京都市立病院 総合外科

事務局長 中川 研人 御所西歯科中川クリニック

日本栄養治療学会近畿支部 第17回支部学術集会の開催にあたって

日本栄養治療学会近畿支部 第17回支部学術集会
会長 荒金 英樹
愛生会山科病院 消化器外科



この度、2025年7月19日（土）日本栄養治療学会近畿支部 第17回支部学術集会を京都市府民総合交流プラザ（京都テルサ）で開催させていただくことになりました。栄養系の学会では世界でも有数の規模を誇る日本臨床治療学会（JSPEN）の中で最大の会員数を誇る近畿支部会は我が国のみならず世界の栄養学の発展に大きく寄与してきた諸先輩方の功績に畏怖の念を抱きながらも、その支部学術集会を担当させていただくこと、自分含めた運営スタッフ一同、その重責とともに大変光栄に感じています。

今回の学術集会では「栄養管理の点と点をつなげる」をテーマに支部会ならではのユニークな企画を数多く盛り込みました。これまで近畿の栄養学を率いてきた先達にはその成果を紹介していただき、それを新進気鋭の次世代の先生方がどう発展させるかをシンポジウム1, 2で大いに語っていただきます。ほかにも医療現場で当然の如く掲げられる「多職種連携」も施設内だけではなく地域へどうつなげるか、医療と一般社会はどのように連携できるのかといった様々な「つなげる」をテーマに多くの方々に議論できるプログラムになっています。そして、特別講演では新たに JSPEN を率いる立場となられた市川大輔新理事長（山梨大学医学部 外科学講座第1教室教授）にこれから JSPEN が進む方向性を大いに語っていただきます。

本学術集会の開催日には祇園祭の宵山、山鉦巡行は終わっていますが、祭り自体は「後祭」含めて7月いっぱい開催されます。この祇園祭は平安時代に疫病が流行した際、神泉苑に神輿を送り、疫病退散を祈った「祇園御霊会」にその源があります。まさにコロナ禍で棄損した人と人とのつながりを取り戻す良い機会、時期です。暑い京都ですが、服装はネクタイ等は控えていただき軽装で涼しげに、しかし心と頭は熱く会場にお越しください。多くの方々のご参加を願っています。

最後に本学術集会の実質的な主導をしていただいた実行委員長 錦織達人（京都市立病院）、事務局長 中川研人（御所西歯科中川クリニック）の両先生、それを支えてくれた塩濱奈保子さん（京都済生会病院）、齋藤嘉子さん（介護老人保健施設 茶山の里）にはこの場を借りて御礼申し上げます。

日本栄養治療学会近畿支部 世話人一覧

役職	氏名	都道府県	所属
支部長	伊藤 明彦	滋賀県	東近江総合医療センター
代議員	天野 晃滋	大阪府	大阪国際がんセンター
	天野 良亮	大阪府	医療法人 天野医院
	荒金 英樹	京都府	愛生会山科病院
	井端 剛	大阪府	箕面市立病院
	海堀 昌樹	大阪府	関西医科大学
	梶原 克美	大阪府	近畿大学病院
	桂 長門	兵庫県	神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野
	神谷 貴樹	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院
	木村 豊	奈良県	近畿大学奈良病院
	鞍田 三貴	大阪府	千里リハビリテーション病院
	栗原 美香	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院
	合田 文則	大阪府	千里リハビリテーション病院
	小谷 穰治	兵庫県	神戸大学大学院医学研究科外科系講座
	小西 尚美	兵庫県	兵庫医科大学病院
	西條 豪	大阪府	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
	杉浦 伸一	京都府	同志社女子大学
	武元 浩新	大阪府	市立貝塚病院
	土岐祐一郎	大阪府	大阪大学
	鳥井 隆志	兵庫県	兵庫県立尼崎総合医療センター
	永野 彩乃	兵庫県	Caresso
	二井麻里亜	京都府	京都光華女子大学
	西岡 弘晶	兵庫県	神戸市立医療センター 中央市民病院
	土師 誠二	京都府	蘇生会総合病院
	羽生 大記	大阪府	大阪市立大学大学院
	馬場 重樹	滋賀県	滋賀医科大学医学部
	東別府直紀	京都府	京都医療センター
	平野 勝康	京都府	舞鶴共済病院
	藤本 美香	大阪府	近畿大学メディカルサポートセンター
	松岡 美緒	大阪府	大阪国際がんセンター
	松末 美樹	兵庫県	株式会社 INOMIRAIZ
	松谷 泰男	和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター
	松山 仁	大阪府	市立東大阪医療センター
見戸 佐織	大阪府	箕面市立病院	
名徳 倫明	大阪府	大阪大谷大学	
村山 敦	大阪府	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院	

役職	氏名	都道府県	所属
代議員	室井 延之	兵庫県	地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院
	矢田 光絵	大阪府	大阪急性期・総合医療センター
	矢吹 浩子	兵庫県	office HAND in HAND
	山田 圭子	京都府	医療法人財団康生会 武田病院
	山田 知輝	大阪府	大阪けいさつ病院
	李 相雄	大阪府	大阪医科薬科大学
学術評議員	浅田 宗隆	大阪府	松下記念病院
	飯田 洋也	京都府	西京都病院
	生島 繁樹	奈良県	地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
	井谷 智尚	兵庫県	神戸市立西神戸医療センター
	岩本 昌子	兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院
	植田 道子	滋賀県	
	内田洋一朗	京都府	京都大学医学部附属病院
	内橋 恵	兵庫県	正峰会訪問看護ステーション
	大里 恭章	大阪府	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院
	大島 拓	兵庫県	神戸大学大学院医学研究科
	奥村 晋也	京都府	京都大学医学部附属病院
	奥村 仙示	京都府	同志社女子大学
	貝田佐知子	滋賀県	滋賀医科大学
	額原 敦	奈良県	近畿大学奈良病院
	柏本佳奈子	大阪府	若草第一病院
	勝浦 知恵	兵庫県	公立学校共済組合 近畿中央病院
	加藤 恭郎	奈良県	天理よろづ相談所病院
	鎌田 紀子	大阪府	てんのうじ消化器・IBDクリニック
	川端 良平	大阪府	堺市立総合医療センター
	貴島真佐子	大阪府	社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院
	衣笠 章一	兵庫県	公立宍粟総合病院
	木村 拓也	大阪府	八尾徳洲会総合病院
	窪田 健	大阪府	医誠会国際総合病院
	栗山真由美	京都府	明治国際医療大学
	黄 啓徳	京都府	医仁会 武田総合病院
	郷間 厳	大阪府	堺市立総合医療センター
	櫻井 克宣	大阪府	大阪市立総合医療センター
	塩濱奈保子	京都府	京都済生会病院
	篠木 敬二	兵庫県	甲子園大学
	島本 和巳	滋賀県	淡海医療センター

役職	氏名	都道府県	所属
学術評議員	蛇持 聖子	大阪府	
	丈達 知子	大阪府	大阪大学大学院歯学研究科
	白石 裕子	京都府	医療法人 徳洲会 宇治徳洲会病院
	末廣 篤	京都府	京都大学大学院 医学研究科
	高井英月子	大阪府	重症心身障害児者施設 四天王寺和らぎ苑
	高嶋 典子	兵庫県	園田学園大学
	高田 俊之	兵庫県	尼崎だいもつ病院
	高橋 美貴	兵庫県	神戸大学医学部附属病院
	高森 翔子	滋賀県	東近江総合医療センター
	瀧藤 克也	和歌山県	済生会有田病院
	竹谷 耕太	大阪府	独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院
	竹林 克士	滋賀県	滋賀医科大学
	田尻ゆかり	大阪府	近畿大学病院
	田附 裕子	兵庫県	兵庫医科大学
	辰巳 真穂	兵庫県	地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院
	玉井由美子	京都府	京都大学医学部附属病院
	豊田 実和	奈良県	医療法人和幸会 阪奈中央病院
	豊田 義貞	奈良県	株式会社わかば 若葉薬局生駒本店
	中川 理子	大阪府	NTT 西日本 健康管理センタ
	仲下知佐子	大阪府	
	中西 直子	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院
	中山 環	大阪府	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター
	西川 和宏	大阪府	大阪警察病院
	錦織 達人	京都府	京都市立病院
	西田 香	滋賀県	滋賀医科大学附属病院
	西村 智子	京都府	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院
	野原 幹司	大阪府	大阪大学大学院歯学研究科
	畠山 淳司	大阪府	大阪医科薬科大学
	畑中 徳子	奈良県	天理大学
	濱口 雄平	大阪府	大阪赤十字病院
	平岡慎一郎	大阪府	大阪大学大学院歯学研究科
	福田 泰也	奈良県	近畿大学奈良病院
	福永恵美子	滋賀県	ブルーレイク消化器内科クリニック
	福原 真美	奈良県	公益財団法人天理よろづ相談所病院
藤田 幸男	奈良県	奈良県立医科大学附属病院	
布施 順子	滋賀県	社会医療法人誠光会 淡海医療センター	

役職	氏名	都道府県	所属
学術評議員	真壁 昇	大阪府	関西電力病院
	松本 史織	京都府	社団法人愛生会山科病院
	三浦 真香	兵庫県	西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
	宮崎 安弘	大阪府	大阪急性期・総合医療センター
	本告 正明	大阪府	大阪急性期・総合医療センター
	百木 和	大阪府	摂南大学
	森住 誠	大阪府	社会医療法人寿楽会大野記念病院
	森安 博人	奈良県	南和広域医療企業団 五條病院
	安原 祥子	滋賀県	南草津ひだまりハートクリニック
	山口 千影	奈良県	奈良県立医科大学附属病院
	山根あゆみ	兵庫県	市立伊丹病院
	山根 泰子	京都府	京都栄養医療専門学校
	山本 和義	大阪府	大阪国際がんセンター
	矢本 真也	大阪府	大阪市立総合医療センター
	柚木 大和	大阪府	社会医療法人医真会医真会八尾総合病院
吉内佐和子	大阪府	関西医科大学附属病院	

(2025年4月1日 現在)

参加者へのご案内

■学会会場

京都テルサ

〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町 70

■参加受付

当日の受付混雑回避のため、事前参加登録へのご協力をお願いいたします。

事前参加登録：2025年6月3日（火）正午～7月18日（金）正午

本会ホームページ「参加登録」内の最下部「参加登録方法」よりお申込みください。

https://cs-oto3.com/jspen_kinki2025/registration.html

【参加登録費】

	事前参加登録 (6/3 (火) 正午～ 7/18 (金) 正午まで)	当日参加登録 (7/20 (日) 18:00～ 8/29 (金) 17:00 まで)
会員	3,000 円	4,000 円
非会員	4,000 円	5,000 円
学生	1,000 円	1,500 円

【当日の現地参加登録について】

会場に開設される当日受付にて参加登録用紙にご記入いただきます。後日学会マイページからオンラインにて参加登録していただき、クレジットカードもしくは銀行振込でお支払いいただきます。対応時間に非常にお時間を要する場合がございますので、予めご了承ください。

当日参加受付 日 時：2025年7月19日（土）8:20～15:30

場 所：西館 1F エントランスホール

■ネームカード

マイページにて「受講票」をダウンロードの上、受付までお持ちください。

ネームカードおよびストラップをお渡しさせていただきます。

■ランチョンセミナー

ランチョンセミナーにて、参加者用のお弁当をご用意いたします。

【事前に「学会マイページ」よりお弁当をご希望された方】

参加受付にて『ランチョンセミナー整理券』をお渡しさせていただきます。ご自身の聴講するセッションをご確認の上、受付にお越しください。

なお、会場整理の都合上、プログラム開始5分後まで有効といたします。

【当日にお弁当をご希望される方】

参加受付にて、聴講を希望するセッションをお伺いの上、『ランチョンセミナー整理券』をお渡しさせていただきます。

なお当日分のお弁当には限りがございます。**先着順**となりますので、売り切れ次第終了となります。予めご了承ください。

なお、会場整理の都合上、プログラム開始5分後まで有効といたします。

■プログラム・抄録集 PDF

支部学術集会ホームページ「プログラム・日程表」内の「プログラム・抄録集」より PDF をダウンロードしていただけます。ダウンロードには、ID/パスワードが必要になります。

プログラム・抄録集 PDF 閲覧は会員特典となりますので、会員の方には会員マイページメニュー「お知らせ」に、各支部学術集会プログラム・抄録集ダウンロード用の ID/パスワードを掲載いたしております。非会員の方には参加登録後、ID/パスワードをメールにてお知らせいたします。

■プログラム・抄録集紙媒体

学術集会当日、参加受付にて有料販売（1部 500円）いたします。販売部数が限られておりますので、売り切れの際はご了承ください。

■企業展示

日 時：2025年7月19日（土）10:00～16:30

場 所：西館 2F ホールロビー

ぜひお立ち寄りください。

■注意事項

会場での録音・録画・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。また、会場内では、携帯電話等はマナーモードにするか、電源をお切りください。

撮影は著作権の侵害となる可能性がございます。厳にお慎みください。

■Wi-fiのご案内

会場内には Free Wi-fi のご準備がございます。

パスワードは、当日会場でご確認ください。

■支部学術集会参加による JSPEN 個人資格認定単位取得について

NST 専門療法士 新規・更新申請：5 単位
栄養治療専門療法士 新規・更新申請：5 単位

新規受験・更新申請を行う際に、支部学術集会の単位は自動反映されません。参加登録完了後、受講票、参加登録完了メール、修了証いずれかの画像をダウンロードいただき、マイページ内の資格申請ページからアップロードいただくことで単位として反映していただきます。

※オンデマンド配信終了と同時に受講票はダウンロードできなくなりますので、ご注意ください。

■オンデマンド配信

配信開始：2025 年 7 月 28 日（月）正午～

配信講演：ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナーを除く全講演

※一部配信が無い演題もございます。予めご了承ください。

■次期開催のご案内

日本栄養治療学会近畿支部 第 18 回支部学術集会

会長：松山 仁（市立東大阪医療センター）

会期：2026 年 7 月 25 日（土）

会場：サンライズビル大阪

■お問い合わせ

大会事務局：御所西歯科中川クリニック

〒602-8018 京都府京都市上京区御霊町 69

運営事務局：株式会社 オフィス・テイクワン

〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目 10 番 9 号 栄プラザビル 4 階 B 号室

TEL：052-508-8510 FAX：052-508-8540 E-mail：jспен_kinki@cs-oto.com

座長・演者へのご案内

■発表時における利益相反（COI）の開示

申告すべき利益相反（COI）がない場合、ある場合どちらの場合も申告が必要です。発表スライド2枚目に利益相反（COI）自己申告に関するスライドを加えてください。利益相反に関する詳細については、学会ホームページよりご確認ください。スライドフォーマットもこちらからダウンロードできます。

<https://www.jspen.or.jp/society/coi/>

■発表時間

	発表	質疑応答	総合討論
特別講演	50分	5分	—
教育セミナー	20分	5分	—
シンポジウム 1	15分	—	30分
シンポジウム 2	12分	—	30分
パネルディスカッション 1	12分	—	30分
パネルディスカッション 2	15分	—	25分
ディスカッションセッション	第1演者	20分	25分
	第2演者	15分	
優秀演題候補セッション	8分	3分	—
ワークショップ	6分	3分	—
一般演題	5分	2分	—
ポスター	5分	2分	—

時間厳守での進行にご協力をお願いいたします。

■□演発表

1) PC 受付

日 時：2025年7月19日（土）8:20～15:30

場 所：西館 1F ホールロビー

ご発表 30 分前までに PC 受付にお立ち寄りいただき、データ登録ならびに外部出力の確認をお済ませください。

2) メディアをご持参される方

- ・ご発表は PC 発表（PowerPoint / Keynote）のみとなります。タブレット端末及びスマートフォンでの発表はできません。プロジェクターは一面投影です。
- ・会場にご用意する PC は Windows11 です。Windows 版 Power Point 2021 に対応いたします。
- ・スライドサイズはワイド画面（16:9）を推奨いたします。（標準 4:3 でも投影は可能ですが、画角が小さくなります。）
- ・作成に使用された PC 以外でも必ず動作確認を行っていただき、USB メモリーをご持参ください。
- ・フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐために OS 標準フォントを推奨いたします。

- ・発表演題のファイル名は「演題番号 演者名.pptx」としてください。
- ・発表データは学会終了後、運営事務局で責任を持って消去いたします。

3) PC 本体をお持ち込みになる方

- ・Mac でデータ作成した場合や動画・音声データを含む場合は、ご自身の PC をお持ち込みください。
- ・会場にご用意するプロジェクター接続のコネクタ形状は HDMI 端子です。HDMI 端子以外の出力端子の場合は、ご自身で変換アダプターをご用意ください。
- ・動画については、Windows Media Player で再生可能な形式 (.wmv、.mp4 推奨) にしてください。それ以外の形式の場合には、会場の PC では再生できませんので、必ずご自身の PC をご持参ください。本体の液晶画面に動画が表示されても、PC の外部出力に接続した画面には表示されない場合があります。実際にお持ちいただく PC の外部出力をモニターまたはプロジェクターに接続してご確認ください。
- ・バッテリー切れになることがございますので、電源アダプターを必ずご用意ください。
- ・再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。

4) ご発表時のお願い

- ・次演者はセッション開始の 15 分前までに各会場内の次演者席にご着席ください。
- ・発表終了 1 分前に黄色ランプ、終了・超過時には赤色ランプを点灯してお知らせします。円滑な進行のため、時間厳守でお願いします。
- ・演台上には、モニター、キーボード、マウスをご用意いたします。
ご登壇いただくと最初のスライドが表示されますので、その後の操作は各自で行ってください。

■ポスター発表

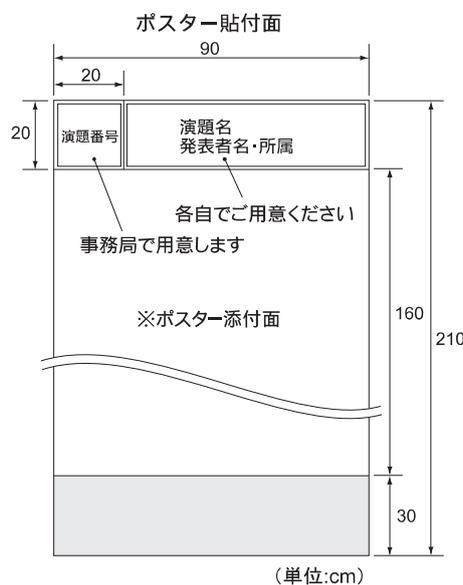
ポスター発表者は、日程表でご自身の発表時間をご確認の上、ポスター会場にお越しください。ポスター演者の受付はございませんので、ご自身の演題番号の表示があるパネルまで、直接お越しいただき、指定された日時に掲示・発表・撤去を行ってください。

		7月19日(土)
貼 付		9:00～10:30
発 表	ポスター1 (嚥下・口腔ケア)	11:20～12:10
	ポスター3 (悪性腫瘍)	
	ポスター5 (重症・電解質異常・輸液療法)	
	ポスター2 (NST・多職種連携)	13:45～14:30
	ポスター4 (摂食・代謝疾患)	13:45～14:15
ポスター6 (地域連携)		
撤 去		16:00～17:00

1) ポスター会場
東館 2F 中会議室

2) ポスターのサイズ・掲示について

- ・左上の演題番号（縦 20cm・横 20cm）は事務局でご用意いたします。
- ・演題名、所属、演者名を各自ご用意ください（縦 20cm・横 70cm）。
- ・ポスター貼付スペースは縦 160cm・横 90cm です。パネルから離れても判読できるよう、文字や図表も十分読み取れる大きさにする等、見やすい展示をお願いいたします。
- ・ポスター発表者は該当する利益相反（COI）の状態について発表時にご申告ください。申告はポスターパネルの最後に貼付してください。（申告すべき COI がいない場合、ある場合どちらの場合もご申告が必要です。）
- ・ご自分の演題番号が表示されているパネルに設置された掲示用のピンを使用し、ポスターを掲示してください。
- ・所定の時間内にポスターを撤去してお持ち帰りください。撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは事務局にて処分させていただきます。



3) 発表時間について

- ・発表者はご自身の発表時間区分を確認してポスター会場へお越しください。
- ・発表時間は 5 分、質疑 2 分です。座長の進行に従ってください。
- ・ご自身のポスターセッション開始 10 分前になりましたら、各パネルにご用意しています「発表者用ネームホルダー」を身に付け、1 番目の演題パネル前に集合してください。

■座長の皆様へ

1) 口演発表座長の方へのお願い

- ・ご担当セッションの開始 15 分前までに、会場前方右側の次座長席にご着席ください。その際に、進行係にお声がけくださいますようお願いいたします。
- ・遅延しないように時間厳守にてお願いいたします。

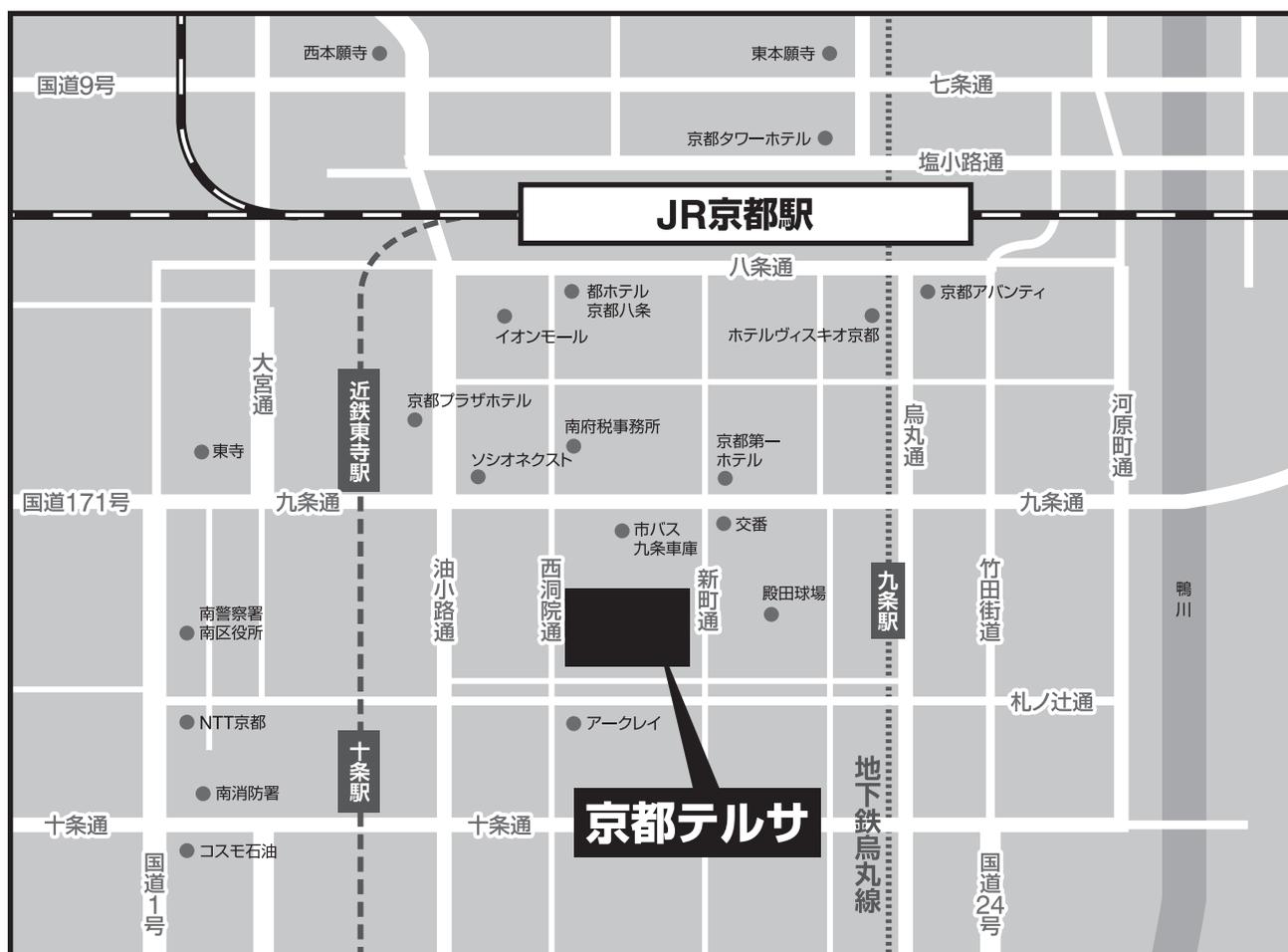
2) ポスター発表座長の方へのお願い

- ・ご担当セッション開始 15 分前までに、ポスター会場内の座長受付にお立ち寄りください。
- ・セッション開始 10 分前に、ご担当セッション 1 番目の演題パネル前に待機し発表者を確認してください。
- ・遅延しないように時間厳守にてお願いいたします。

日程表

	第1会場	第2会場	第3会場	ポスター会場			
	西館1F テルサホール	東館2F セミナー室	東館3F 大会議室	東館2F 中会議室			
8:50~8:55	開会式						
9:00							
9:00~9:50	ワークショップ1 ICU・重症患者 座長:東別府 直紀、栗原 美香	9:00~9:25 教育セミナー1 栄養評価 眞壁 昇 座長:梶原 克美 9:30~9:55 教育セミナー2 周術期栄養 山本 和義 座長:窪田 健	9:00~10:30 シンポジウム1 近畿における 栄養治療研究のこれまで 岸本 裕充、海堀 昌樹、 今村 博司、土師 誠二 座長:木村 豊、小谷 穰治				
10:00							
10:00~11:00	特別講演1 日々の癌診療で感じる 栄養管理の重要性と 今後の栄養治療の展望 市川 大輔 座長:伊藤 明彦	10:00~10:25 教育セミナー3 口腔ケア 野原 幹司 座長:村山 敦 10:30~10:55 教育セミナー4 高齢者・在宅栄養 西村 智子 座長:西岡 弘晶					
11:00							
11:10~12:10	特別講演2 子どもの食べる力を育てる ~五感を引き出すサブレメソッド~ 染井 順一郎 座長:土師 誠二	11:10~12:10 ディスカッションセッション ポジティブ心理学×作業療法で実現する 栄養サポートの新たな地平 島井 哲志、齋藤 嘉子 座長:殿内 優斗	10:40~12:10 シンポジウム2 近畿における 栄養治療研究のこれから 犬尾 加奈、永野 彩乃、 神谷 貴樹、松野 頌平、 外池 奈実 座長:錦織 達人、松山 仁	座長:島本 和巳、 樋口 眞宏	11:20~12:10 ポスター1 嚥下・ 口腔ケア	11:20~12:10 ポスター3 悪性腫瘍	11:20~12:10 ポスター5 重症・ 電解質異常・ 輸液療法
12:00							
12:30~13:30	ランチョンセミナー1 頭頸部癌患者 専属栄養管理チームの活動 末廣 篤 座長:錦織 達人 共催:株式会社大塚製薬工場	ランチョンセミナー2 栄養、睡眠、生活習慣病の深い関係 ~睡眠時無呼吸症候群の 最新の診断と治療も含めて~ 白濱 龍太郎 座長:城谷 典保 共催:株式会社シーユーシー・ホスピス	12:30~13:30 第2会場 中継	座長:白石 裕子、 高井 英月子		座長:桂 長門、 竹谷 耕太	
13:00							
13:45~15:15	パネルディスカッション1 栄養の視点から考える がん治療と生活 平井 健次郎、藤野 滉平、 松岡 美緒、采野 優、 山中 英治 座長:錦織 達人、松本 史織	13:45~15:35 優秀演題候補セッション 座長:荒金 英樹、黄 啓徳	13:45~14:30 一般演題3 嚥下・口腔ケア 座長:糸田 昌隆、栗山 真由美	座長:岡田 有司、 布施 順子	13:45~14:30 ポスター2 NST・ 多職種連携	13:45~14:30 ポスター4 摂食・ 代謝疾患	13:45~14:15 ポスター6 地域連携
14:00							
15:00							
15:30~17:00	パネルディスカッション2 栄養・嚥下でつなげる 多職種連携 布施 慎也、近藤 健、 安井 裕香、西村 豪文 座長:中川 研人、山田 圭子	15:45~16:20 一般演題1 高齢者 座長:奥村 仙示、馬場 重樹 16:25~17:00 一般口演2 NST・多職種連携 座長:山根 泰子、竹林 克士	14:40~15:20 アフタヌーンセミナー 座長:玉森 豊、 塩濱 奈保子	座長:松末 美樹、 高嶋 典子	周術期感染対策のベストプラクティス ~外科専門医&感染症専門医の立場から~ 山本 健人 座長:飯田 洋也 共催:ミヤリサン製薬株式会社		
16:00							
17:00							
17:15~18:00	閉会式						
18:00	近畿支部世話人会						

交通案内

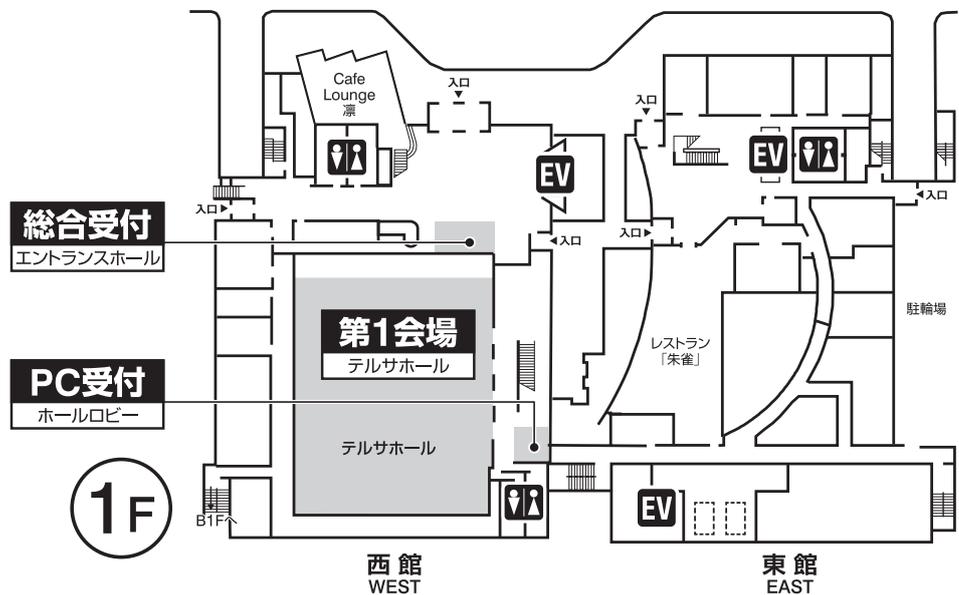
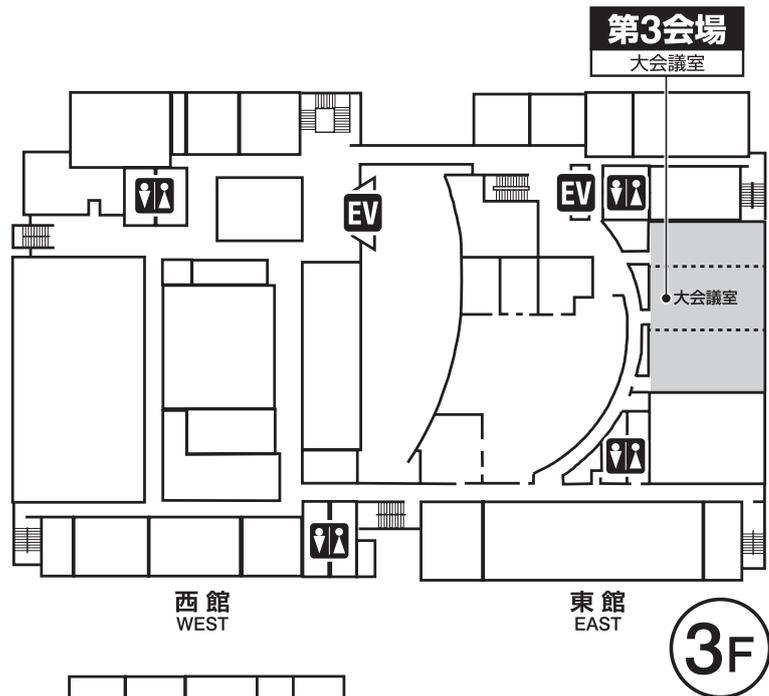


京都テルサ 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地(新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内)

- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
- 市バス九条車庫南へすぐ

会場案内

京都テルサ	
第1会場	西館1F テルサホール
第2会場	東館2F セミナー室
第3会場	東館3F 大会議室
企業展示	西館2F ホールロビー
ポスター会場	東館2F 中会議室
休憩コーナー	東館2F 中会議室
総合受付	西館1F エントランスホール
PC受付	西館1F ホールロビー
学会本部	東館2F 研修室



プログラム

第1会場

開会式

8:50 ~ 8:55

荒金 英樹

日本栄養治療学会近畿支部 第17回支部学術集会 会長
(愛生会山科病院 消化器外科)

ワークショップ1 ICU・重症患者

9:00 ~ 9:50

座長：東別府直紀 (独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 麻酔科)
栗原 美香 (滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部)

WS1-1 ICUにおける早期経腸栄養への診療看護師の取り組み

川本 寿代 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 集中治療部)

WS1-2 当院ICUにおける管理栄養士配置後の栄養介入の推移

宇多佐智子 (市立東大阪医療センター 栄養管理科)

WS1-3 GLIM基準を用いた集中治療室およびハイケアユニットの栄養評価：現状と課題

温谷 恭幸 (公益社団法人都市市郡医師会病院)

WS1-4 当院ICU患者におけるエネルギー充足率および蛋白質投与量の現状

福岡 学 (市立東大阪医療センター 栄養管理科)

WS1-5 急性期脳卒中患者のADL改善に及ぼす栄養学的因子の検討

玉野由香理 (社会医療法人寿会 富永病院 栄養部)

特別講演1

10:00 ~ 11:00

座長：伊藤 明彦 (一般社団法人 日本栄養治療学会 近畿支部 支部長/
国立病院機構東近江総合医療センター 消化器内科/滋賀医科大学 総合内科学講座)

SL1 日々の癌診療で感じる栄養管理の重要性と今後の栄養治療の展望

市川 大輔 (一般社団法人 日本栄養治療学会 理事長/山梨大学 外科学講座第1教室)

特別講演2

11:10 ~ 12:10

座長：土師 誠二 (蘇生会総合病院 外科)

SL2 子どもの食べる力を育てる～五感を引き出すサベレメソッド～

染井順一郎 (独法 国立病院機構京都医療センター臨床研究センター 予防医学研究室/
一社 味の教室協会)

座長：錦織 達人（京都市立病院 総合外科）

LS1 頭頸部癌患者専属栄養管理チームの活動

末廣 篤（京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

共催：株式会社大塚製薬工場

パネルディスカッション 1 栄養の視点から考えるがん治療と生活

13:45 ~ 15:15

座長：錦織 達人（京都市立病院 総合外科）

松本 史織（愛生会山科病院 栄養科）

PD1-1 胃癌術後患者に対する経口栄養補助剤の体重減少抑制効果の検討：
多機関共同ランダム化比較試験

平井健次郎（日本赤十字社 大津赤十字病院 外科）

PD1-2 消化器内科における初回化学療法導入時の GLIM 基準を用いた低栄養有病率調査

藤野 滉平（国家公務員共済組合連合会 大手前病院 栄養管理室）

PD1-3 短期間の入院を繰り返すがん治療でのシームレスな栄養治療
- 頭頸部癌化学放射線治療（CRT）での取り組み -

松岡 美緒（大阪国際がんセンター 栄養管理部門）

PD1-4 がん悪液質の最新エビデンスから考えるこれからの栄養治療の展望

采野 優（京都大学医学部附属病院 緩和医療科）

PD1-5 高齢がん患者の QOL の視点から考える「がん地域連携パス」と人生の終末期医療

山中 英治（若草第一病院 外科）

パネルディスカッション 2 栄養・嚥下でつなげる多職種連携

15:30 ~ 17:00

座長：中川 研人（御所西歯科中川クリニック）

山田 圭子（医療法人財団 康生会 武田病院）

PD2-1 繰り返す誤嚥性肺炎のメカニズム

布施 慎也（京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室）

PD2-2 訪問診療における栄養・嚥下診療との連携

近藤 健（おがわ内科呼吸器内科医院）

PD2-3 在宅における食支援の取り組み～歯科診療所に所属する管理栄養士の役割～

安井 裕香（御所西歯科中川クリニック）

PD2-4 地域密着型急性期病院における多職種連携 ～ ST の立場から～

西村 豪文（京都社会事業財団 西陣病院 リハビリテーション科）

松山 仁

日本栄養治療学会近畿支部 第18回支部学術集会 会長
(市立東大阪医療センター 消化器外科)

第2会場

教育セミナー 1 栄養評価

9:00 ~ 9:25

座長：梶原 克美 (近畿大学病院 栄養部)

- ES1 GLIM 基準を踏まえた栄養アセスメントの潮流
真壁 昇 (関西電力病院 疾患栄養治療センター)

教育セミナー 2 周術期栄養

9:30 ~ 9:55

座長：窪田 健 (医誠会国際総合病院 消化器外科)

- ES2 消化器癌患者に対する栄養介入とサルコペニア対策
—エビデンスをつなぎ、実践へ活かす—
山本 和義 (大阪国際がんセンター 消化器外科)

教育セミナー 3 口腔ケア

10:00 ~ 10:25

座長：村山 敦 (岸和田徳洲会病院 歯科口腔外科)

- ES3 肺炎予防としての口腔ケア～その効果と限界
野原 幹司 (大阪大学大学院 歯学研究科 顎口腔機能治療学講座)

教育セミナー 4 高齢者・在宅栄養

10:30 ~ 10:55

座長：西岡 弘晶 (神戸市立医療センター中央市民病院 総合内科)

- ES4 みんなで取り組む高齢者の逆流・嘔吐
西村 智子 (社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院 内科)

ディスカッションセッション ～ポジティブ心理学×作業療法で実現する栄養サポートの新たな地平～ 11:10 ~ 12:10

座長：殿内 優斗 (京都民医連あすかい病院 リハビリテーション部)

- DS-1 ポジティブな人生とリハビリテーション：ポジティブ心理学からのアプローチ
島井 哲志 (関西福祉科学大学)
- DS-2 “食べる喜び”を再定義する作業療法の挑戦：ポジティブ心理学を活用した食行為支援
齋藤 嘉子 (介護医療院茶山のさと リハビリテーション課)

LS2 栄養、睡眠、生活習慣病の深い関係

～睡眠時無呼吸症候群の最新の診断と治療も含めて～

白濱龍太郎（医療法人 RESM / 慶應義塾大学先端科学技術研究センター）

共催：株式会社シーユーシー・ホスピス

優秀演題候補セッション

座長：荒金 英樹（愛生会山科病院 消化器外科）

黄 啓徳（医仁会武田総合病院疾病予防センター）

EX-1 食道癌周術期における Immuno-nutrition の可能性

竹林 克士（滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 / 滋賀医科大学 外科学講座）

EX-2 胃癌術後低血糖と骨格筋量の関連

井上 博之（京都府立医科大学 消化器外科）

EX-3 半固形食を用いた 13C 呼気試験による胃癌患者の胃排出能の経時的比較検討

貝田佐知子（滋賀医科大学 外科学講座）

EX-4 胃癌患者における歯周病の実態とその影響

高島 和也（京都府立医科大学 消化器外科）

EX-5 ヒトの肝切除前後における糖および脂肪合成の原因検討

尾上 千佳（同志社女子大学 食物栄養科学科 / 名古屋学芸大学 栄養科学研究科）

EX-6 脳卒中ケアユニットにおける専任管理栄養士配置が早期経腸栄養開始に与える影響：導入前後の比較検討

魚谷 奈央（滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部）

EX-7 在宅療養者の食を支える管理栄養士の存在を伝える

樹山 敏子（NPO 法人京都栄養士ネット）

EX-8 絶食を必要とする小児 IBD 患者の入院初期栄養管理の実態と課題：DPC データを用いた横断研究

清水 碧（前 医療法人啓成会 コンフォート岡田）

EX-9 年齢と性別の違いによる日本人の血漿アミノ酸濃度の検討

西岡 亜海（同志社女子大学大学院 生活科学研究科）

EX-10 日本人におけるコーヒーの摂取頻度と肝機能改善との関連

中尾 紗英（同志社女子大学大学院 生活科学研究科）

一般演題 1 高齢者

15:45 ~ 16:20

座長：奥村 仙示（同志社女子大学 生活科学部 食物栄養科学科）

馬場 重樹（滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部）

- 1-1 高齢者向け高エネルギー密度あずきあんの MCT オイル添加による物性への影響
夏目 彩里（同志社女子大学大学院 生活科学研究科）
- 1-2 高齢者向けアミノ酸・たんぱく質添加あずきあんの物性測定
木村 凜（同志社女子大学大学院 生活科学研究科）
- 1-3 画像試験による高齢者の食事設計における適切な 1 食の主菜重量の検討
今福三有紀（同志社女子大学大学院 生活科学研究科 食物栄養科学専攻）
- 1-4 高齢大腿骨近位部骨折患者の ADL 改善に寄与する因子の検討
銚立 容子（医療法人尚和会 宝塚第一病院 栄養部）
- 1-5 多職種連携介入により手術・化学療法が可能であった高齢進行胃癌の 1 例
大橋 拓馬（西陣病院 外科）

一般演題 2 NST・多職種連携

16:25 ~ 17:00

座長：山根 泰子（京都栄養医療専門学校）

竹林 克士（滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部）

- 2-1 精神科単科施設の NST 活動における作業療法士の役割
高島 昌（医療法人 桐葉会 木島病院 精神科リハビリテーショングループ）
- 2-2 NST（栄養サポートチーム）コンサルテーションの実態調査と今後の課題
木田 順子（市立東大阪医療センター 栄養管理科／NST）
- 2-3 NST 介入にて静脈栄養から経管栄養、経口摂取へと移行、栄養状態改善となった一例
南 愛恵（わかくさ竜間リハビリテーション病院 医療技術部栄養課）
- 2-4 長期経腸栄養施行中の瘻孔漏れに対し NST 介入により経腸栄養が継続でき皮膚トラブルが改善した一例
桐本 梓（社会医療法人若弘会 若草第一病院 栄養課）
- 2-5 胃全摘後の通過障害に対し PTEG 造設した患者の QOL 向上への関わり
～多職種連携を意識した退院支援～
今中 由真（一般社団法人愛生会山科病院 看護部）

第3会場

シンポジウム1 近畿における栄養治療研究のこれまで

9:00～10:30

座長：木村 豊（近畿大学奈良病院 消化器外科）

小谷 穰治（神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野）

SY1-1 誤嚥性肺炎予防のためのオーラルマネジメント

岸本 裕充（兵庫医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座）

SY1-2 肝胆道外科領域における栄養療法について

海堀 昌樹（関西医科大学 肝臓外科学講座）

SY1-3 多職種連携による胃癌周術期の栄養療法に関する多施設共同前向き研究

—KSES-001 試験と OGS-1108 試験—

今村 博司（市立豊中病院 消化器外科）

SY1-4 我々が行なってきた周術期がん栄養管理と未来への提言

土師 誠二（蘇生会総合病院 外科）

シンポジウム2 近畿における栄養治療研究のこれから

10:40～12:10

座長：錦織 達人（京都市立病院 総合外科）

松山 仁（市立東大阪医療センター 消化器外科）

SY2-1 栄養介入は急性期・回復期で終わりではない

～生活期の現場から伝えたい現状と課題～

犬尾 加奈（社会医療法人 甲友会 西宮協立在宅栄養ケアセンター／

西宮協立脳神経外科病院／

西宮協立デイケアセンターほほえみ・第2ほほえみ／

西宮協立認定栄養ケア・ステーション（機能強化型認定栄養ケア・ステーション）

SY2-2 経験を、知に。知を、未来へ ～臨床と研究のつなげかた～

永野 彩乃（Caresso コンサルタントナース）

SY2-3 薬剤師が実践する臨床栄養研究の課題と医療安全との接点

神谷 貴樹（滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部）

SY2-4 在宅における「栄養の分岐点」 ～多職種で考える摂食嚥下障害のこと～

松野 頌平（株式会社 Dental ホールディングス 医療法人メディエフ寺嶋歯科医院／

小児在宅歯科医療研究会）

SY2-5 術前経口補水療法における至適経腸栄養剤選定のための基礎検討

外池 奈実（滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部）

一般演題 3 嚥下・口腔ケア

13:45 ~ 14:30

座長：糸田 昌隆（大阪歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科）
栗山真由美（明治国際医療大学 看護学部看護学科）

- 3-1 嚥下調整食 2 の粘度評価と調理者の認識差に関する検討
森 茂雄（JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 栄養管理室）
- 3-2 絶食と指示された患者が NST の介入によって経口摂取可能となった事例について
佐々木千佳（一般社団法人愛生会山科病院）
- 3-3 経鼻胃管による嚥下への影響が示唆された反回神経麻痺の 1 例
白石 智順（国立病院機構 東近江総合医療センター 栄養サポートチーム）
- 3-4 左側下顎歯肉癌の軟性再建術後に当院 NSST 介入および顎義歯作成し
摂食嚥下機能を改善した 1 例
渋谷 和磨（京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座 口腔外科学分野）
- 3-5 回復期リハビリテーション入院患者における口腔機能低下症の実態
三浦 真香（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院 歯科）
- 3-6 腎不全患者の不明熱の原因であった急性壊死性潰瘍性歯肉炎：一症例報告
山本耕治郎（京都市立病院 腎臓内科）

アフタヌーンセミナー

14:40 ~ 15:20

座長：飯田 洋也（西京都病院）

- AS 周術期感染対策のベストプラクティス ～外科専門医&感染症専門医の立場から～
山本 健人（京都大学医学部附属病院 消化管外科）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

一般演題 4 栄養評価・栄養介入

15:30 ~ 16:00

座長：二井麻里亜（京都光華女子大学 健康科学部 健康栄養学科）
吉田 真也（天理よろづ相談所病院 消化器外科）

- 4-1 血液透析患者の栄養評価～ GLIM 基準は有効か～
岡本 康子（医療法人社団三遠メディメイツ志都呂クリニック／
浜松医科大学 地域医療学講座）
- 4-2 GLIM 基準で低栄養であった頸椎前方固定術後患者に対し管理栄養士の長期介入後
に改善が見られた 1 症例
安藤 良（独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院 栄養管理部）
- 4-3 院内調理から完全院外調理へ—嗜好調査結果から見えた課題
山本 純平（辻本病院 栄養科）
- 4-4 頭頸部放射線療法における粘膜障害に対する食事摂取支援の取り組みについて
赤尾 志（医療法人徳洲会宇治徳洲会病院）

座長：福原 真美（天理よろづ相談所病院 看護部）

松谷 泰男（日本赤十字社和歌山医療センター 乳腺外科部）

WS2-1 持続血糖モニタリングを用いて明らかとなった胃切除直後血糖の実態

西別府 敬士（京都府立医科大学 消化器外科）

WS2-2 幽門側胃切除症例での血清 VB12 値と臨床病理学的特徴の相関

中西 保貴（国立病院機構京都医療センター）

WS2-3 骨髄抑制期における安全な食事管理と細菌検査の知見

古川 真由（滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部）

WS2-4 造血幹細胞移植後患者への LTFU 外来における栄養士の関わりについて

石田 香（泉大津急性期メディカルセンター 栄養管理室）

WS2-5 当院におけるアナモレリン投与の現状と早期導入のための取り組み

大住 悠介（国立病院機構東近江総合医療センター NST）

WS2-6 がん終末期に糖尿病内科医ができること

～当院の糖尿病死因調査の結果も踏まえて～

大村 寧（公立甲賀病院 糖尿病・内分泌内科／公立甲賀病院 NST）

ポスター会場

ポスター 1 嚥下・口腔ケア

11:20 ~ 12:10

座長：白石 裕子（医療法人 徳洲会 宇治徳洲会病院）
高井英月子（四天王寺和らぎ苑）

- P-1-1 当院での口腔癌治療における周術期栄養管理の実際
金山 宏幸（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 口腔外科）
- P-1-2 上咽頭癌化学放射線治療後の嚥下障害を有する患者に継続的に栄養介入を行った一例
福田 槇子（パナソニック健康保険組合 松下記念病院 栄養指導室／
パナソニック健康保険組合 松下記念病院 NST）
- P-1-3 精神疾患患者の摂食嚥下障害について
菅原 徐奈（東加古川病院 栄養課）
- P-1-4 膀胱癌術後補助化学療法にて重症筋無力症を発症し、重度嚥下障害を呈したが経口摂取可能となった1事例
深川喜久子（医療法人 宝生会 PL 病院 看護部）
- P-1-5 A 病院における嚥下調整食提供者に対するミールラウンドの報告
切通 京子（社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院 看護部）
- P-1-6 食道の運動障害と食道炎を合併した高齢者肺炎の一例
大竹 優樹（社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 薬剤部）
- P-1-7 嚥下機能障害患者の便秘に対する服薬の現状調査
木村 梨乃（西陣病院 薬剤部）

ポスター 3 悪性腫瘍

11:20 ~ 12:10

座長：島本 和巳（社会医療法人誠光会 淡海医療センター 消化器内科）
樋口 眞宏（愛生会山科病院 薬剤部）

- P-3-1 スキルス胃がん患者に対して W-ED チューブによる栄養治療と化学療法が奏効した一例
樋富 美咲（淀川キリスト教病院 栄養管理課）
- P-3-2 悪性消化管閉塞に対する PTEG の効果と“PTEG 症候群”への対応
菅田 美葉（愛生会山科病院 薬剤部）
- P-3-3 術前化学療法中の発熱性好中球減少症患者への NST 介入事例
望月 貴子（京都市立病院 栄養科）
- P-3-4 外来化学療法時の栄養指導の ONS（経口的栄養補助）の嗜好・経済的負担についての検討
青木 綾子（医療法人徳洲会宇治徳洲会病院）
- P-3-5 当科で施行した 80 代の胃癌手術症例の検討
赤神 正敏（阪和記念病院消化器外科）

P-3-6 胃癌術後の経口栄養補助のランダム化比較試験に参加した当院の4症例の narrative base の検討

影山 悠 (京都市立病院 外科)

P-3-7 がん患者の栄養管理に関する包括的理解：
ESPEN の教育プログラム LLL ライブコース Topic41 の学習経験

辰巳 真穂 (地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院 薬剤部)

ポスター 5 重症・電解質異常・輸液療法

11:20 ~ 12:10

座長：桂 長門 (神戸大学大学院医学系研究科外科系講座 災害・救急医学分野)

竹谷 耕太 (大阪労災病院 栄養管理部)

P-5-1 重傷患者における経鼻胃管先端位置確認システム“タムガイド®”の有用性

伊集院真一 (兵庫県災害医療センター 救急部)

P-5-2 補助栄養療法が効果的であった超高齢の熱傷患者の一例

荒木 里美 (大阪医科薬科大学病院 栄養部栄養課)

P-5-3 肝不全用アミノ酸輸液長期投与時、増量を契機に高クロール性アシドーシスの診断に至った1症例

飯野 倫子 (宝生会 PL 病院 薬剤部)

P-5-4 輸液ポンプ精度を知り指示量の全量投与を目指す取り組み

畑野 見帆 (医療財団法人 康生会 武田病院)

P-5-5 高カロリー輸液の静脈栄養関連肝障害に対してサイクリック PN が奏功した一例

北川 寛明 (一般社団法人愛生会 山科病院 内科)

P-5-6 低 Na 血症への対応

～たんぱく質負荷により低 Na 血症の改善が得られた症例を通して

勝本恵理香 (国立病院機構 大阪医療センター 栄養管理室)

P-5-7 腸閉塞に対して保存的加療中に超重症低ナトリウム血症をきたした1例

有川 裕貴 (公立宍粟総合病院 外科・消化器外科)

ポスター 2 NST・多職種連携

13:45 ~ 14:30

座長：玉森 豊 (和泉市立総合医療センター 消化器外科)

塩濱奈保子 (京都済生会病院 栄養科)

P-2-1 侵襲的治療を繰り返す熱傷患者の微量元素不足に対して NST が介入した1例

光高 蓉平 (京都第二赤十字病院 薬剤部/京都第二赤十字病院 看護部/

京都第二赤十字病院 栄養課/

京都第二赤十字病院 糖尿病・腎臓・膠原病科/

京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科)

P-2-2 急性大動脈解離術後に他職種の連携で術後早期から座位での経口摂取を促進して栄養状態が維持できた一例

友成 さき (医誠会国際総合病院 リハビリテーション部)

- P-2-3 大腸全摘術後に CV ポート造設と多職種による教育により脱水再発を回避できた一例
上出紗栄加（医誠会国際総合病院 薬剤部）
- P-2-4 回復期病棟で高度な視野障害を併発している患者へ NST チーム連携した食支援
内橋 恵（医療法人社団南淡千遙会 神戸平成病院）
- P-2-5 嚥下障害を伴う脳出血後患者のライフイベント参加に向けた回復期リハビリテーション入院中の取り組み
古川 迪子（京都大原記念病院 神経内科／国立精神・神経医療研究センター病院）
- P-2-6 多職種連携により、重度嚥下障害から経口摂取可能となった一例
林田 智陽（公立甲賀病院 リハビリテーション課）

ポスター 4 摂食・代謝疾患

13:45 ~ 14:30

座長：岡田 有司（名古屋文理大学 健康生活学部 健康栄養学科）

布施 順子（社会医療法人誠光会 淡海医療センター 栄養部）

- P-4-1 術後期栄養管理に難渋した局所進行口腔癌の 1 例
金山 宏幸（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 口腔外科）
- P-4-2 インスリン自己免疫性症候群の血糖コントロールにコンスターチ療法が有効だった 1 症例
後藤 啓太（国家公務員共済組合連合会 大手前病院 栄養管理室）
- P-4-3 肥満症を伴う視神経脊髄炎スペクトラム障害患者の回復期リハビリテーション中の栄養管理
古川 迪子（京都大原記念病院 神経内科／国立精神・神経医療研究センター病院）
- P-4-4 神経性食思不振症に対するオランザピンの効果
長野由紀子（愛生会山科病院 薬剤部）
- P-4-5 SMA 症候群を併発した神経性食思不振症に対して wEDtube を留置し栄養サポートを行った 1 症例
岡田 典子（京都府立医科大学附属病院 栄養管理部／京都府立医科大学附属病院 NST）
- P-4-6 MCT オイルを用いた栄養療法が一助となった重度摂食障害患者の一例
笠松 大悟（兵庫県立尼崎総合医療センター 救急集中治療科）

ポスター 6 地域連携

13:45 ~ 14:15

座長：松末 美樹（あんどろ消化器内科 IBD クリニック）

高嶋 典子（園田学園大学 人間健康学部 食マネジメント学科）

- P-6-1 各領域（急性期病院から在宅まで）の栄養管理の違いについて～ベテラン管理栄養士の実務経験から～
小林 広明（栄養相談所 はむはむ（ボランティア団体））

- P-6-2 介護施設における PTEG 造設後対象者の受け入れに関する取り組みの実践報告**
加藤 麻緒（株式会社シーユーシー・ホスピス 本社所属）
- P-6-3 京都市西京地域“all 西京栄養を考える会”活動報告**
川手 由香（京都桂病院 栄養科／武庫川女子大学 食物栄養学科）
- P-6-4 当院における栄養情報連携料算定の状況と課題**
垣谷 知佐（社会医療法人榮昌会 吉田病院栄養管理室）